



大正大学人間学部 フィールドワーク学習

児童教育を目指す学生が学ぶ”水辺の安全指導法”

B&G財団では、7日間にわたる大正大学の「フィールドワーク学習」を7月10日から同月31日のなかで行いました。この取り組みは、児童教育の現場を目指す学生たちに、子供の安全・安心を担う人材になってほしいという大学側の要望を受けて、2015年6月に協定を締結し実施しているもので、今年で3回目となります。今年度は、同大学の人間学部人間環境学科の1年生23人が、集団行動法や水泳概論、水辺の安全講義などの基礎的講座とローポート・カヌー・SUPなどの実技研修を受講しました。

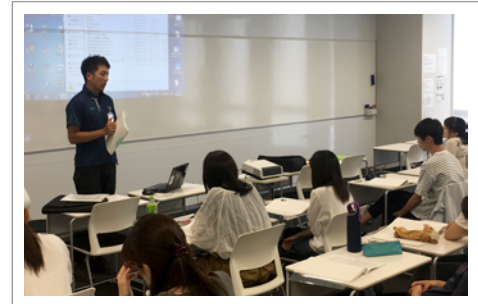
水辺の安全の基礎を集中的に学ぶ「巣鴨キャンパス」



① BLS(一次救命処置Basic Life Support)講習



② 海洋性レクリエーションの安全性を高めるロープワーク実技



③ 集団行動法・水泳概論などの基礎的講座を受講

海洋性レクリエーションの実技講習「南三陸研修センター」



④ 水泳の実践研修



⑤ 実践を通じて水辺への理解を深めました



⑥ あいさつなどの規律、規範を身に着ける集団行動法

学生の声

- マリンスポーツ体験では判断力、行動力が身についた。カヌーやSUPに乗れるようになった時の達成感がうれしかった。一步踏み出すことや冷静になって落ち着いて行動することの大切さを学ぶことができた。(女性)
- 今回の研修を行う前は水辺の事故が起きるなら水辺に行くのを控えたり、水辺のものから避ければいいのかと思っていた。しかし今回の研修を通してこの考え方が大きく変わり、実際に体験してみないと魅力もその半面にある怖さも知ることができなと思った。(男性)

